

AG PRESS

大学だより

AICHI GAKUIN UNIVERSITY

May. 2017 [vol.203]

[特集]

社会とつながる 部活動

文化芸術の若き伝道者たち。

TOP MESSAGE

新年度挨拶

役職者就任あいさつ

新任教員紹介

シュウカツの現場から

就活のお金事情

学院坂

(日進キャンパス)

本部棟から6号館へとゆるやかに下る、通称“学院坂”。春には部活動の勧誘ブース、秋には愛学祭の模擬店が立ち並ぶほか、野球部員が走り込み練習で汗を流すなど、常に学生たちで賑わうキャンパスのメインストリートです。

巻頭言

新年度挨拶

学生の皆さんに向けて



考える基礎を築く時間を大切に。

愛知学院大学 学長 佐藤 悦成

常に自分で考え、自ら学び続けてほしい。

愛知学院大学に入学の新生諸君、誠におめでとうございます。今年度は学部2779名、大学院88名の皆さんをお迎えできました。これまでの研鑽が見事に花開きましたことに敬意を表しますとともに、諸君を支えてくれました保護者の皆様にもお慶び申し上げます。新生諸君は、大学生活の様々な可能性に心躍らせておられることと思いますが、若く感性豊かなこの時に、自らの将来を見据えて、学ぶべきことを確実に身に修めてください。皆さんはそもそもなぜ学ぶのですか。学びの途中ではその理由がわかりにくいものですが、私は自分を磨くことが学びであると思っています。日本人は、武術や

芸術といった様々な技芸に精神性を見出しました。その道を求め続けることが、技術を磨くと同時に人としての完成に繋がると考えたからです。換言すれば「自己教育力」と言ってもよいでしょう。混迷の現代であればこそ、学びによって心を磨くという、古の日本人が大切にしてきた伝統を思い起こして下さい。

本学は、「行学一体」と「報恩感謝」を建学の精神としています。知識技術を学びつつ、同時に人格を高めて、学びを実行に移すことのできる人となり、さらに、今の自分を正しく捉えて、感謝と慈しみの心を忘れない人となるのが教育の柱なのです。学識を深めつつ寛容な心を持って、知識偏重に陥ることなく、自分で常に考えてほしいと願っています。多様な価値観が混在しているからこそ、「世界の多様性を知り、お互いを認め合う」ことが必要です。自分の目で見て、広い視野でお互いの理解を深めることに努力して下さい。自分を正しく主張する論理的思考能力や、積極性・自主性を大学時代に習得して下さい。自ら学び続けなければ、刻々と移り変わる社会状況についていくことは困難です。

考える基礎を築く時間の余裕は、大学時代以外には、ほとんどないでしょう。これから、生涯の中でも特に貴重な4年間を、どのように過ごすかを決めるのは皆さん自身です。どうか悔いのない充実した大学生活を過ごしてください。本学での学びが、皆さんの未来の、確固とした基盤になることを願っています。



新しい人生のスタートに向けて。

学校法人 愛知学院
学院長
小出 忠孝

愛知学院大学新生の皆さんのご入学を衷心よりお慶び申し上げます。皆さんは、これから学業生活を通して基礎教育、教養を修得していくことでしょう。その過程を通し、自分の目的に向かって自分自身で未来を切り拓き、それぞれの夢を実現していただきたいと思っています。

本学院では、建学の精神のもとに皆さんが自分の可能性にひたむきに挑戦できるよう支援します。そのため、一人ひとりが主体的に学び、学んだことを実践に移して他の人と協働できるような環境を提供してまいります。

最後になりますが、保護者の方々の大学に対する深いご理解とご支援を切にお願い申し上げます。

平成29年度新生諸君、入学おめでとうございます。今春の大学入試では志願者総数2万4千を超える多数の受験者の中から選ばれ入学した新生諸君に、心からおめでとくと申し上げます。

諸君が入学した愛知学院は現在9学部16学科、大学院9研究科、短大1学科に学生総数1万2千名を有する、中部地区で最大級の私立の総合大学です。

この名門愛知学院への入学を叶えた諸君は幸運であるわけですが、これが目的でなく新しい人生のスタートです。何事もスタートが大切。一日一日を無駄に過ごすことなく有意義な学生生活を送られることを期待します。

自身で未来を切り拓き、夢を実現してほしい。

学校法人 愛知学院
理事長
中野 重哉





2017

キャンパス発、旬のトピックスをご紹介します。

MAY

TOPICS
03



平成29年度 入学式を行いました。

桜が咲きはじめる中、平成29年度大学・大学院入学式が4月1日に日進キャンパスにおいて、短期大学部入学式が4月5日に楠元キャンパスにおいて挙行されました。入学者数は大学9学部16学科で2673名、大学院9研究科で88名、短期大学部106名です。入学式後は、教員との対面式や学生証の授受など、期待と緊張の面持ちで初日を過ごした新入生たち。皆さんが実りある学生生活を送れるよう本学もサポートしていきます。

環境性能が将来にわたり持続する次世代型エコキャンパスの新たなモデル構築をめざした事例として、名城公園キャンパスが「平成28年度省エネ大賞 省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞」を受賞。2月15日(水)、東京ビッグサイトで表彰式が行われ、中野重哉理事長に表彰状とトロフィーが授与されました。立地条件を活かし、隣接する公園からの涼風や地中熱といった自然エネルギーを最大限利用するほか、冷温水式セントラル空調など先進技術導入により年間を通じた快適な学習環境を確保。さらに省エネ・省CO₂の両立を実現したことが評価につながったようです。

名城公園キャンパスが「平成28年度 省エネ大賞 省エネ事例部門 省エネルギーセンター会長賞」受賞。



TOPICS
01

イオンリテール株式会社と 産学連携協定を締結。

3月22日(水)に本学日進キャンパスにて、イオンリテール株式会社より専務執行役員 東海・長野カンパニー 辻晴芳支社長、本学より佐藤悦成学長など関係者が出席し、調印式が執り行われました。本学とイオンリテール株式会社は、以前より人材交流などさまざまな取組をしてきましたが、昨年12月、本学日進キャンパスに隣接する長久手市に「イオンスタイル長久手」が開店したことを機に、さらなる相互の取組、連携を強化することをめざしています。



TOPICS
02

歯学部 千田彰教授(保存修復学講座)が 「日本歯科医学会 会長賞(教育部門)」 受賞。

TOPICS
04



この賞は、歯学の研究、教育、地域医療へのそれぞれへの貢献について、日本歯科医学会専門分科会、認定分科会及び歯科大学・大学歯学部からの推薦に対し、厳正に評価され授与されるものです。千田教授の長年の歯学教育、学会貢献を評価され、最高位である「会長賞(教育部門)」を受賞しました。本学では、これまでに(故)原、平沼、河合、野口、田中、中垣各名誉教授が受賞し、千田教授は7人目の受賞者になりました。

社会とつながる部活動



文化芸術の若き伝道者たち



特集

AG vol.9
REPORT

学生の成長の糧は、学業だけではなく。学内外でのさまざまな活動を通じた経験が、

一人ひとりの豊かな人間性を育みます。部活動は、その大きなきっかけのひとつ。

愛知学院大学では多くの文化部・サークルが、作品展や演奏会、イベントなどを通し、

日頃の活動の成果を広く一般に披露するとともに、文化芸術にふれる楽しさを社会と共有しています。

今回は、そんなアートの“若き伝道者たち”の取り組みをご紹介します。

書道部 × 作品展



「第26回 愛学院書展」

■開催日程／2017年2月7日(火)～12日(日)
■場所／名古屋ギャラリー米
■展示作品数／70点 ■来場者／約450人

「第26回 愛学院書展」開催

学生の作品発表の場として、また、より多くの人に書や日本文化への理解と関心を高めてもらうための取り組みとして、書道部が文学部日本文化学科と共催している「愛学院書展」。今年は2月7日(火)から6日間にわたり70の作品を披露しました。会場では学生たちが一般の方と交流する場面も多く、温かい言葉をかけていただいた部員たちは、大きなやりがいを実感しました。

多くのプロフェッショナルと連携

準備は約1年前からスタート。会場の予約、図録の制作などさまざまな業務を学生たちが自らこなします。ギャラリーの担当者や書道具店など、さまざまな分野のプロフェッショナルたちと連携し準備を進める中で、自身の力で作品展を成功に導きたいという強い思いと責任感が部員一人ひとりに芽生えたようです。書道部ではほかにも社会と関わる機会が多く、学生たちは日々の活動を自らの人間的成長につなげています。



会期中は、多くの来場者の方から「今年も観に来ました」「来年も楽しみにしています」と声をかけていただきました。自分たちの活動が多くの人に楽しみを提供していることを実感でき、とても嬉しく感じました。

部長's
Voice

いけうち かつゆき
池内 克行さん
文学部 日本文化学科 3年

写真部・美術部 × 作品展



外部の会場で開催する作品展は、活動の成果を多くの方に披露するチャンス。時には厳しいご意見をいただくこともありますが、それを今後の活動にどう生かすのかを考え、成長につなげています。

●写真部

べっしょ りょうた
別所 凌太さん
心身科学部 心理学科 2年

「芸連展」開催

「芸連展」は、写真部と美術部が毎年夏に共催する恒例の作品展。各部の部員たちが日頃の活動の成果を発表します。毎回、設定したテーマに沿って制作した作品を展示。会場となるギャラリーには多くの来場者が訪れ、若い感性が光るアート作品の数々を楽しみます。

展覧会を自ら運営する過程で “社会人力”を養う

年に数回開かれる展覧会の中でも特に大きな催しである「芸連展」。学生たちは準備にも力を入れて取り組みます。会場の設営では、各作品の個性が際立ったより印象的な展示になるよう、バランスを熟慮して配置。ほかにも、展覧会という大きなイベントの運営に関するさまざまな業務に取り組みます。初めての経験に戸惑う新入部員なども、それぞれの役割をこなすうちに柔軟な対応力や自らなすべきことを見つけ率先して動く力を身につけています。そうした一連の経験を通し、社会の一員として成長していくのです。

美術部が開催する展覧会の中でも特に大きなイベントである「芸連展」。そのための作品づくりや準備・運営を成し遂げることで、部員たちの自信をつけ、次への目標を見つけることができます。

●美術部

みずたに ちさと
水谷 千里さん
文学部 日本文化学科 3年

部長's
Voice

「芸連展」

■開催日程／2016年7月5日(火)～10日(日)
■場所／名古屋ギャラリー米 第8展示室
■展示作品数／45点 ■来場者／約500人



吹奏楽団 ×演奏会

2016年度は吹奏楽コンクール愛知県大会で金賞を受賞し、東海大会にも出場させていただきました。定期演奏会では、楽しみに来場くださるお客様のためにコンクールの演奏曲を披露、プレッシャーの中で演奏し終わった後の達成感は格別でした。

団長's
Voice

いだ ゆうた

井田 悠太さん

法学部 現代社会法学科 3年

「第23回 定期演奏会」開催

定期演奏会は1年の活動の集大成。団員が一丸となって練習や準備に取り組み、大きなコンサートホールで演奏します。「第23回定期演奏会」では新たな試みに挑戦。観客に目でも楽しんでもらえるよう、演奏だけでなく寸劇を上演しました。衣装や道具を自分たちで手作りするなど音楽以外の準備にも力を入れて臨んだ本番では、過去の演奏会をはるかに上回る数の観客から拍手喝采を浴び、大きな自信につながりました。

学生自ら企業を訪問しスポンサー集めに奮闘

学内外に活動の場を広げている吹奏楽団。学生たちは、その準備や本番出演を通し、さまざまな経験値を高めています。特に定期演奏会では、例年、協賛金集めに自ら行きます。さまざまな企業にアポを取り訪問。日頃の活動のアピールや演奏会について説明し、理解・協力につなげます。それはまさに営業活動。社会で役立つコミュニケーション能力の修得に直結しています。



「第23回 定期演奏会」

■開催日程／2016年12月11日(日)

■場所／日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

■来場者／約700人

「全日本うまいもの祭り2016」

「東日本大震災復興支援チャリティー和太鼓ライブ」出演

エンターテインメント性の高い創作太鼓を中心に演奏活動を行う、和太鼓クラブAGU丸座。学内外問わず幅広いフィールドのイベントやライブに出演しています。昨年は「全日本うまいもの祭り2016」、「東日本大震災復興支援チャリティー和太鼓ライブ」でパフォーマンス。観客からの声援を肌で感じて舞台に立つことで、文化芸術の発信者としての意識を高めました。

チャリティーイベントなどへの出演を通し 社会問題への意識を醸成

「全日本うまいもの祭り2016」には、大学からの依頼を受けて出演。ステージと客席の距離が近く、観客の反応をダイレクトに感じながら最高のパフォーマンスを披露できたと言えます。また「東日本大震災復興支援チャリティー和太鼓ライブ」では、約1,000人の観客を沸かせました。ほかにもチャリティーイベントに多数参加する同部。メッセージ性の強い取り組みに参加することで、学生たちに社会へのさまざまな問題意識が芽生えています。

和太鼓クラブ AGU丸座×イベント

「全日本うまいもの祭り2016」

■開催日程／2016年4月29日(金)～5月8日(日)

■場所／愛・地球博記念公園(モリコロパーク)

■来場者／約10,000人

「東日本大震災復興支援チャリティー和太鼓ライブ」

■開催日程／2016年8月28日(日)

■場所／尾張旭市文化会館ホール

■来場者／約1,000人

部長's
Voice

つじ ゆうと

辻 雄斗さん

文学部 国際文化学科 4年

イベントでの演奏をきっかけに、認知されていない問題や支援の必要性について発信できることに活動の意義を感じています。同時に社会問題に対する自分自身の理解不足を知り、メッセージを伝えることの大切さを実感します。

「白鳥庭園 さつき市民茶会・新緑の席」

■開催日程／2016年5月22日(日)

■場所／白鳥庭園 ■来場者／約200人

伊勢志摩サミット協賛「白鳥庭園 さつき市民茶会・新緑の席」開催

茶華道部では、年に数回開催される茶会で学生自らがお茶を振る舞います。中でも50年近く継続して行っている「徳川茶会」のサポート活動は、徳川美術館から特別功労賞を授与されました。昨年は名古屋市白鳥庭園で開催された伊勢志摩サミット協賛「白鳥庭園 さつき市民茶会・新緑の席」で、外国人のお客様などにお点前を披露。多くの方から大好評を得ました。

外国人の来席者に英語や中国語で日本文化を解説

伊勢志摩サミットに合わせて来日する外国人のお客様が日本文化を体験できる茶会を開きたいと名古屋市から相談を受け、実現に向けて茶華道部の部員たちが動きました。名古屋ゆかりの茶道具や伊勢志摩にちなんだお菓子を用意するなど入念に準備。当日は部員全員が着物姿でお茶の飲み方や茶道具のひとつひとつまで、英語や中国語で詳しく解説しました。多くのお客様との交流を通し、コミュニケーション力や柔軟な対応力の向上につながりました。

茶華道部 ×茶会

一人でも多くの方に「和の心」を体験していただきたいと、茶会を頻繁に開催しています。活動を通して美しい所作が身につくのはもちろん、他大学の学生や一般のお客様など、多くの人との交流が成長の糧になっています。

部長's
Voice

かのう こうき

加納光基さん

文学部 宗教文化学科 3年

就任あいさつ

INAUGURATION SPEECH

文学研究科長

高みをめざして、
一步一步前へ進もうふくしま かねはる
福島 金治 教授

4月より文学研究科長を拝命しました。本研究科は宗教学・仏教学・歴史学・日本文化・英語圏文化の4専攻からなります。大学院の組織は、伝統的な学問体系を継承しつつ、宗教学・仏教学専攻に終末期に宗教的サポートを行う臨床宗教師養成コースが設置されたように、変化も求められています。こうした中、院生が学問に専心できる環境を整え、他者に敬意を払いながら地道に仕事をなし遂げていく人を育てていきたいと思っています。

心身科学部長

青年期を迎え、学部として
さらなる発展をめざすにしだ たもつ
西田 保 教授

人間を心と身体の両面から探求する全国でもユニークな心身科学部。平成15年4月の心理学科開設を機に健康科学科、健康栄養学科が増設され、現在の3学科に至っています。人間でいえば10歳から15歳の若い学部です。これから迎える青年期に向け各学科の独自性をさらに追求しつつ学科間の連携も密にしなが、心身科学の発展に寄与していきたいと考えています。皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

商学研究科長

時代のニーズに迅速かつ柔軟に
対応できる人材を育てたいわきた ひろひさ
脇田 弘久 教授

本年4月より商学研究科長を拝命いたしました。激変する社会環境のなかで、時代の要請に迅速かつ柔軟に対応できる専門知識と問題解決能力を備えた人材の育成をめざし、本研究科がさらに発展し続けるよう教育・研究に取り組んで参ります。浅学非才の身ではありますが、職務に全力を傾注する所存です。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経済学部長

経済学部の挑戦

たまい きんご
玉井 金五 教授

本学で一番新しい経済学部は最初の卒業生を無事に送り出しました。就職状況は全学でトップレベルです。この勢いをさらに加速し「愛知学院に経済学部あり」という評価を定着させていきたいと思っています。そのためには、教員、職員、学生が日頃の努力を確実に積み重ねていかなければなりません。愛知学院の長年の伝統の上に、リーディングファカルティとしての経済学部の歴史を刻んでまいります。ご支援ください。

経済学研究科長

新研究科に社会人も積極的に受け入れ
開かれた大学院をめざすたわだ まこと
多和田 眞 教授

4月から経済学研究科長を務めさせていただいています。4年前に経済学部が設立され、昨年がその完成年度となり、今年4月には高度な研究・教育の機関として大学院経済学研究科が発足しました。本学の学部卒業生はもとより社会人学生も積極的に受け入れて、優秀な人材を育成・輩出できる大学院として育っていくように、皆様のご協力を得ながら尽力いたす所存です。どうかよろしくお願いいたします。

歯学部長

本学出身の歯学部部長として
学部の発展に尽力くりた けんいち
栗田 賢一 教授

昭和44年に愛知学院大学歯学部に入學しましたので、本学には48年間お世話になりました。そのお陰で、口腔外科学会では国内、国外ともに成果を上げることができ、愛知学院の名前を広めることが出来ました。現在、本学歯学部は国家試験合格率や病院運営で改善すべき喫緊の課題があります。今後は本学出身の歯学部部長として早急に対応し、輝く歯学部を再建する所存です。皆様のご協力をお願い致します。

4月新任教員紹介

NEW PROFESSOR INTRODUCTION

・ 経営学部

つちはし りきや
土橋 力也
准教授

①名古屋大学大学院経済学研究科、博士(経済学) ②長崎大学経済学部准教授 ③経営戦略論 ④ウインドサーフィン、テニス、自転車

・ 心身科学部

なかむら かおる
中村 薫
教授

①大阪教育大学大学院教育学研究科 修士課程修了、修士(教育学) ②大阪家庭裁判所主任家庭裁判所調査官 ③司法臨床、犯罪心理学 ④オーケストラ活動、ホルン演奏

・ 文学部

ふじた けん
藤田 賢
准教授

①名古屋大学大学院国際開発研究科 博士後期課程単位取得満期退学、博士(学術) ②三重県立神戸高等学校教諭 ③英語教育、心理言語学 ④つり、バスケットボール観戦

・ 法学部

くろの ようこ
黒野 葉子
准教授

①早稲田大学大学院法学研究科 博士後期課程単位取得満期退学、修士(法学) ②東北学院大学法学部准教授 ③商法(会社法) ④ピアノ、野球観戦、ドライブ

・ 心身科学部

かつ ぶんき
葛 文綺
准教授

①名古屋大学大学院教育発達科学研究科 発達臨床学専攻博士後期課程修了、博士(教育学) ②名古屋大学ハラスメント相談センター ③臨床心理学 ④スポーツ観戦、映画鑑賞、読書

・ 文学部

ほし くみこ
星 久美子
准教授

①東京女子大学大学院博士課程人間科学研究科 人間文化科学専攻修了、博士(人間文化科学) ②国立大学法人信州大学人文学部特任准教授 ③イギリス文学 ④旅行、ゴルフ、猫と遊ぶこと

・ 歯学部

とりうみ たく
鳥海 拓
講師

①日本大学大学院歯学研究科 博士課程修了、博士(歯学) ②日本大学歯学部解剖学第II講座助教 ③口腔組織学、口腔発生学、iPS細胞を用いた再生医療 ④京都旅行、筋トレ

・ 商学部

のぐち ともひろ
野口 倫央
准教授

①愛知学院大学大学院経営学研究科 博士後期課程修了、博士(経営学) ②東海学園大学経営学部准教授 ③会計学 ④スポーツ観戦、音楽鑑賞、旅行

・ 心身科学部

いしだ なおたか
石田 直章
教授

①日本体育大学大学院体育学研究科 修士課程修了、修士(体育学) 藤田保健衛生大学医学部第2生理学教室研究生修了、博士(医学) ②名古屋芸術大学人間発達学部大学院研究科教授 ③運動生理学、障害者スポーツ ④ジャズ、クラシック音楽鑑賞、登山 スポーツは特にマリンスポーツ、冬季スキー

・ 歯学部

やまぐち だいすけ
山口 大輔
講師

①愛知学院大学大学院歯学研究科 博士課程修了、博士(歯学) ②愛知学院大学歯学部高齢者歯科学講座非常勤講師 ③臨床:補綴科所属、研究:骨の再生 ④歯学部弓道部監督、旅

・ 商学部

おかの じゅんじ
岡野 純司
講師

①中央大学大学院法学研究科 博士後期課程単位取得満期退学、博士(法学) ②株式会社西武ホールディングス管理部マネジャー ③流通政策 ④国内旅行

・ 心身科学部

いとう たかゆき
伊藤 高行
教授

①名古屋大学大学院医学研究科、博士(医学) ②カリフォルニア大学デービス校医学部神経内科准教授 ③内科学(神経内科学)、神経科学 ④サイエンスについては何でも面白いと思います。趣味ですが、幼稚園時代から「鉄ちゃん」で、小学校から「star gazer」です。



今年4月、本学教授陣に加わった先生方を紹介します。

・教養部



つかもと さおり
塚本 早織
講師

①名古屋大学大学院環境学研究科、博士(心理学) ②京都大学こころの未来研究センター日本学術振興会特別研究員(PD) ③社会心理学・文化心理学 ④ヨガを始めてみようかなと思っています

・教養部



おおまつ ひさのり
大松 久規
講師

①駒澤大学大学院人文科学研究科 仏教学専攻博士後期課程修了、博士(仏教学) ②駒澤大学仏教学部非常勤講師 ③中国仏教(天台学) ④野球

・教養部



うんの ゆうぞう
海野 勇三
教授

①広島大学大学院教育学研究科 修士課程修了、修士(教育学) ②山口大学大学院教育学研究科教授 ③スポーツ教育学、教育課程論 ④旅行、温泉めぐり、料理、ゴルフ

・教養部



のだ ひろし
野田 大志
講師

①名古屋大学大学院国際言語文化研究科 博士後期課程修了、博士(文学) ②東北学院大学准教授 ③現代日本語学(語構成論・意味論)、認知言語学、日本語教育 ④紅茶、散策、ドライブ

・教養部



かわぐち ゆうさく
川口 勇作
講師

①名古屋大学大学院国際言語文化研究科 博士後期課程(単位取得満期退学) ②大学院生(岡崎女子大学・短期大学、三重大学 非常勤講師) ③外国語教育学(コンピュータ支援語学学習) ④温泉・銭湯めぐり、ドライブ

・教養部



あさはら まさかず
浅原 正和
講師

①京都大学大学院理学研究科、博士(理学) ②三重大学教養教育機構特任講師 ③生物学(進化学・哺乳類学・歯や頭骨などの形態学) ④カモノハシ

AG NEWS FLASH

REPORT



平成29年度 大学後援会総会開催

5月13日(土)、大学後援会総会が日進キャンパスの百周年記念講堂にて行なわれました。

平成28年度事業報告、決算報告に続き、平成29年度新役員人事、事業計画案、予算案などが審議され、原案通り可決。終了後は、けやきテラス2階に会場を移し、保護者と大学教職員との親睦を深めるためのレセプションが開かれました。また、16時からは全国の各支部長が集まり、本年度の支部懇談会の事前打ち合わせなど支部長会を開催。活発な意見交換が行なわれました。

平成29年度 大学後援会本部役員(敬称略)

会長	池田 雅彦
副会長	仁村 邦彦
〃	中山 清文
〃	大原 敏正
支部活動部長	上村 誠一郎
総務部長	阿部 恵彦
厚生部長	大竹 範浩
施設部長	柴田 敬介
教育部長	高木 通吉
課外活動部長	伊藤 貴志
会計	浅井 将広
〃	伊藤 浩治
〃	山本 尚之
〃	山口 昭一
〃	宮脇 利明
参与	青山 稔

会長の池田雅彦氏より
ごあいさつ



この度、大学後援会会長を務めさせていただく事になりました池田雅彦と申します。私は愛知高校から歯学部に入學、卒業後大学病院勤務を経て開業。傍ら現在もなお歯学部非常勤講師として教育に携わらせて頂いております。現在の自分があるのは母校のおかげ、その感謝と恩返しに気持ちを込め愛知学院がより一層発展するために全力を尽くす所存であります。愛知学院の教育理念は「行学一体・報恩感謝」加えて「親子入學」と称し大学と家庭が密接に連携しながら教育効果の向上を目指しています。学生の間は学理の修得、社会に巣立つための「智慧」を学ぶ時期であり、大学後援会では保護者の方々から集められた後援会費より学びの環境充実、有意義な学生生活が送れるよう各種助成を行い、さらに保護者の方々に対し全国各地で支部懇談会を開催しております。どうか厚いご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新任のご挨拶とさせていただきます。



グローバル英語学科学生グループが 「あいち学生観光まちづくり アワード」で優秀賞受賞

中村幸子ゼミの学生グループは3月15日(水)に愛知大学名古屋キャンパスで開催された最終プレゼン審査に臨み、自治体関係者、旅行業関係者ら約200人を前に「大山を世界」の城下町へ外国人観光客が訪れたくなるまち「大山」というテーマで大山市の観光強化について発表。外国人観光客に人気が高い体験型アクティビティ「サムライお姫様なりきりウォーク」や、SNSによるPR動画の作成・配信、観光時に使える「英語表現ヘルプ小冊子」の作成など、具体的な施策提案が評価され、今回の受賞に至りました。今後は企業や行政と連携しながら、提案した施策の実現をめざします。



歯学部学生の学術論文が 国際科学雑誌に掲載

歯学部4年の伊藤太郎さんが書いた論文が、日本解剖学会英文機関誌(国際科学雑誌『Anatomical Science International』(3月10日online版))に掲載されました。伊藤さんは、2年次の解剖学実習中に見出された解剖学的変異(重複下大静脈)について、第120回日本解剖学会総会・全国学術集会、第92回日本生理学会大会合同大会で発表。その後、歯学部解剖学講座 池田教授の指導のもと、その内容を論文にまとめました。論文のタイトルは、『A case of double inferior vena cava with renal, ovarian and iliocavein variation』です。



学生のための 安全管理講習会を開催

3月23日(木)、日進キャンパススポーツセンター多目的室にて、大学で公認されている全クラブ学生(上級生幹部)を対象にした安全管理講習会が開催されました。尾三消防本部の方々による「普通救命講習Ⅰ」の講習に178名が参加。基本的な心肺蘇生法の実技、AEDを使用するための必要な知識及び技術、異物除去法や止血法といった応急手当の仕方について学び、「普通救命講習Ⅰ」の修了証を受領しました。今回学んだことを各クラブ内で共有し、緊急時に備えて各々が行動できるよう期待します。



相撲部 国際女子相撲選抜大会で 佐野清香さんが超軽量級 50 kg未満で準優勝

第5回国際女子相撲選抜大会が4月16日(日)大阪府堺市大浜公園相撲場で行われ、本学相撲部から個人戦の超軽量クラスに佐野清香さん(歯学部歯学科1年)が出場し、見事準優勝の成績を収めました。試合後、佐野さんは「決勝で負けたことは悔しいですが、辛い減量乗り越えてつかんだ2位なのでとても嬉しいんです。来月は全国女子選抜相撲大会もあるので、優勝目指して頑張ります。」と喜びと今後の抱負を語ってくれました。これからも相撲部の応援をお願いします。



ロシア国立モスクワ第一医科大学 教員が研究のために来校されました

ロシア連邦最高峰のモスクワ第一医科大学のアナスタシアマクレナシ先生が、歯学部客員研究員として3月1日(水)〜4月1日(土)まで本学に滞在されました。モスクワ第一医科大学は1758年創立のロシア最古、最大の国立医科大学で、2015年には国際口唇口蓋裂協会の学術大会を開催しました。今回は歯学部・夏目長門特殊診療科教授と共同研究を行うために来校し、中野理事長、小出学院長と歓談されました。また3月9日(木)には、本学楠元キャンパスにおいて「ロシアにおける口唇口蓋裂治療とケア」と題して講演会を開催。歯科医師や本学学生はじめ100名以上の方が参加し、活発な質疑応答がされました。



ラオス外務大臣より 小出忠孝学院長が 外務大臣表彰を贈呈されました

2月10日(金)、ラオス人民共和国より、長年にわたりラオスと日本の友好交流に尽力された本法人 小出忠孝学院長に外務大臣表彰が贈呈されました。本学では、約20年前より小出忠孝学院長が同国への医療に貢献されたことを高く評価。国内初の名誉領事館が本法人本部に開設され、小出学院長が初代名誉領事に就任しました。これにより本学にラオス研究所が設立され、ラオス国立大学との姉妹提携、小学校や孤児院への支援などの人道援助、また名誉領事館として愛知県からラオスに短時間で移動可能なベトナム航空就航なども実現。昨年、伊勢志摩サミットに来日されたラオス国首相とは単独会談を実現しました。その際、首相より愛知学院並びに小出忠孝学院長への長年の多大な貢献に謝意が述べられ、同席した外務大臣より外務大臣表彰が送られることとなりました。



29年各種国家試験の 結果報告

平成29年実施の各種国家試験結果が厚生労働省より発表されました。本学では、薬剤師国家試験については新卒者の合格率が私立大学56校中、第3位と優秀な結果を収めました。また言語聴覚士国家試験についても全国平均を上回る高い合格率でした。各試験の試験結果と合格率(新卒者)は次の通りです。

	受験者数	合格者数	合格率
薬剤師国家試験	106名	103名	97.1%
歯科医師国家試験	96名	72名	75.0%
言語聴覚士国家試験	35名	34名	97.1%
歯科衛生士国家試験	110名	109名	99.1%
臨床心理士資格審査	11名	7名	63.6%

シューカツの現場から

MESSAGE FROM CAREER CENTER

VOL.9



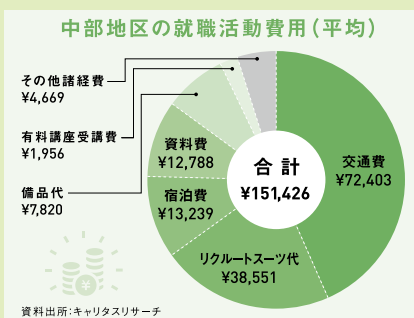
今回のお題

就活のお金事情

就職活動には想像以上にお金がかかることをご存知ですか？リクルートスーツや各種対策講座費用などのほか、説明会や面接などで企業に出向くための交通費も積み重なると大きな額になります。事前準備から内定獲得までの長い就職活動期間中に、どんなことでどのくらいのお金が必要なのか。保護者もよく把握しておく必要があります。

何に、どれだけかかるか？ 今どきのシューカツ費用を見積り。

リクルートスーツ代、交通費、宿泊費、新聞・書籍などの資料費、有料講座受講費、通信費、鞆・手帳などの備品代。これらはすべて、就職活動にかかる費用です。データによると、2017年卒者の全国平均では学生一人あたり合計約13.8万円、中部地区では全国平均より多い約15万円でした。なかでも交通費は支出の約半分を占め、会社説明会や複数回におよぶ選考など就職活動が活発になればなるほど出費もかさみます。さらに昼食代や時間をつぶすための飲食費、身だしなみに必要な理美容費など、統計に表れない小さな金額でも積み重なると大きな費用となっていきます。



学生が就職活動に専念するために、 保護者の理解と支援が不可欠。

「思ったより交通費がかかった」「内定までにこんなにお金がかかるとは思わなかった」。毎年、就活生からよく聞く言葉です。いざ、就職活動が始まってしまうとアルバイトに割ける時間も限られるため、学生たちは金銭的に厳しい状況に陥ることもあはらず。特に全体の中でも大きな割合を占める交通費は、就職活動が本格化するにつれてかさねていきます。保護者世代の時とは異なり、近年は交通費を支給してくれる企業は少なく、あったとしても「最終面接のみ」「選考の終盤のみ」の支給が一般的です。お金がかかるという理由から説明会の参加や応募を躊躇してしまうのは折角のチャンスを少なくしてしまいます。計画的かつ余裕を持って費用を準備しておくことが不可欠です。ただ学生一人の力では限界もありますから、できる範囲で支援をお願いします。

キャリアサポート 通信

公務員試験対策と教員採用試験対策

愛知学院大学には、資格講座を運営するエクステンションセンターと教員志望の学生の単位取得から採用試験対策まできめ細かくフォローする教職支援センターがあり、手厚い支援をしています。

●公務員試験対策

エクステンションセンターでは「1年生基礎コース」から「4年生本番直前コース」まで低学年から段階的に目指す職種に合わせて支援しています。公務員試験合格のためには、まず一次試験の筆記試験対策を確実にこなすことが不可欠。一次試験通過は勉強量に比例するので、1,000時間を目標に着実に努力を積み重ねるよう指導します。さらに二次試験での面接・小論文も重視傾向にあるため、専任の担当者による手厚い個別指導にも力を入れています。

●教員採用試験対策

教職支援センターでは常駐の専任教員が個別相談を行いながら、学生それぞれの疑問や不安を払拭するきめ細かいアドバイスで一人ひとりをサポート。特に論作文・面接対策には力を入れ「人物重視」の傾向がますます強まる試験の突破をめざします。また小学校教員資格試験や保育士試験の対策講座もエクステンションセンターで開講しています。

【2017年卒者 公務員合格実績】

注)カッコ内は人数、カッコがないものは1名 新卒のみ

国家公務員	国家総合職、国税専門官(2)、刑務官(2)、入国警備官、防衛省自衛隊(8)	24
地方公務員	警察官	警視庁(9)、愛知県(33)、岐阜県(7)、三重県(8)など
	消防官	名古屋市、豊田市、岡崎市、豊橋市、岐阜市、静岡市など
	行政職	名古屋市、長久手市(2)、常滑市(2)、多治見市、浜松市など
	教員	愛知県(7)、名古屋市(2)、岐阜県(2)、静岡県(4)、長野県など
	その他	愛知県警察職員(4)、小中学校事務、市民病院など
合計152名		

INFORMATION



キャリアセンター 伝言板

今後の行事予定

7月

- 第2回就職ガイダンス
(3年生対象)

就職活動の準備として、夏休みに
行うべきことの説明

8月

- 夏季インターンシップ実習
(2年生・3年生対象)

TOPIC

2016年卒者実績

警察官採用
中部地区 第1位

消防官採用
中部地区 第5位

研究室探訪

[実践的な食育で、健康な社会の土台をつくる。]



先生の研究分野を
教えてください。

01

よりよい食生活へ導く 教育方法を考案。

どのような食生活を送るかは、本人の体質や意識・意欲だけでなく、その人が置かれている環境に大きく左右されます。職業や家族形態、地域性などの社会・経済・文化的な各種要因を分析し、健康を妨げる食生活の要因となっている場合には、より適切な食習慣へと行動を変える必要があります。「適切な」とは、単に「栄養バランスが整った」という意味だけではありません。例えば、毎日ひとりで寂しく食事をとる子ども、やせ願望の若い女性などへの食を通したメンタルヘルスケアも管理栄養士が取り組むべき課題です。栄養学や食品学の範疇を越え、心理学や社会学の専門家とも連携して「おいしい、楽しい、うれしい」食事の実践をめざす!それが栄養教育学です。

今回の訪問先

心身科学部 教授
酒井 映子先生

Profile

栄養教育学に足を踏み入れたのは、大学時代の恩師の影響だという。学問的な知識の追求だけでなく、現実的な人の生き方を真剣に考える姿勢にも心を打たれた。それは、実践を大切にする自身の姿勢にも受け継がれているそうだ。



よりよい食生活を実現するには
どんなことが必要ですか?

02

食生活を変えるための「気づき」と 「継続的な働きかけ」が大切。

「子ども(幼児)に毎日野菜を200g食べてもらう」。この目標を達成するためには、どのような教育方法が考えられるでしょうか。愛知県高浜市と進めている食育活動では、朝から野菜を食べる習慣をつけるために、子どもを対象に朝ごはんに関するアンケートを実施。子どもたちが、朝、どんなものを食べたいと思っているか把握した上で、栄養バランスが良く、毎朝野菜を楽しく食べられる献立を一緒に考えました。栄養教育で大切なことは「自分の食生活を振り返り、問題に気づくこと」。そして「食行動を変えていくこと」。食育活動が一過性のイベントで終わってしまわないよう、子どもたちの食生活の意識が高まり、適切な食習慣が形成されるまで、教育の効果判定をしながら、継続的な働きかけをしていくことが大切です。



check!

高浜市のイベントでは、野菜の塗り絵を通してさまざまな色の野菜をバランスよく食べることの大切さを子どもたちに教えました。



健康栄養学科の学びの
特色について教えてください。

03

地域と連携した活動を通し、 栄養教育を実践的に学べる。

学生は講義や実験・実習に加え、実践活動への取り組みを通して、栄養教育の方法を学びます。そのひとつが、大学内で年に2回、日進市と共催する「子ども健康おやつ教室」。今年で9回目となる恒例事業で、おやつ作りを通して子どもたちが適切な食生活について学ぶ機会としています。メニューや子ども向けの調理の方法を教えるのは大学生です。昨年から継続しているテーマは「伝統行事とお菓子」。春の節句、正月、お盆のおやつに続き、春の花見のおやつでは、にんじん、蓮根、ほうれん草の3色花見だんごを作りました。安全で簡便な調理手順を何度も試行錯誤。愛知県特産の蓮根を使い、地元の食文化を学ばせる工夫もしました。今後も連携できる自治体を増やし、ゼミナールやボランティアなどでの体験学習による学びを充実させていきたいと考えています。



check!

「健康おやつ教室」では学生が見本を見せ、子どもたちのおやつ作りをサポート。「何を作るか」「どう教えるか」は学生自身が考えます。